

## 令和 3 (2021)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	悪性リンパ腫における遺伝子異常を基盤とした発症機構・分子病態の統合的解明
研究代表者	片岡 圭亮 (慶應義塾大学・医学部・教授) ※令和 3 (2021)年 7 月末現在
研究期間	令和 3 (2021)年度～令和 7 (2025)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、悪性リンパ腫において同定された遺伝子異常の機能解析と分子機構の解明、生体内 CRISPR スクリーニングによる遺伝子異常の検証、CRISPR 制御部位スクリーニングによる B 細胞リンパ腫特異的 PD-L2 発現制御機構の解明、単一細胞マルチオミクス解析の応用と微小環境の解明、ヒト検体由来の遺伝子解析データの臨床応用を目指すものである。</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>本研究は、応募者が独自に同定した遺伝子異常の生体内における詳細な機能的意義と分子機構を統合的に解析するもので、高い独自性を有する。研究の遂行により、悪性リンパ腫の新しい治療標的・バイオマーカーの開発につながるとともに、遺伝子解析パネルとしての実用化により、がんゲノム医療に貢献することが期待される。</p>